

# そよかぜ通信

## 第273号

発行

2023年3月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団  
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信  
〒182-0032 調布市西町290-4  
TEL 042-481-7663  
FAX 042-481-7074  
URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>  
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



### ～水道のお水はどこへ行く？～

小平と稲城にある水の施設へ  
見学に行ってきました！



お水に関する色々な展示を見て  
触って体験してきました！

小平市ふれあい下水道管

南多摩水再生センター

本物の下水道管の中にも  
入ってびっくり！  
こんなに大きいの？！



# ☆今月のキラリ☆一番星!

今月のキラリ☆一番星は、Yさんです!

青空の下、散歩中☀️



作業班では、織り機や課題も頑張っています!

## 実習生が来ていました



保育士と幼稚園教諭の勉強で、利用者さんとのふれあいや、作品の準備まで頑張っていました😊

## ボランティアさん、活躍中!

もと業者さんや、実習生だった方が、その後ボランティアとしてそよかぜの活動のお手伝いに来てれています。利用者さんも嬉しそうです♪



## そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



## 職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!

「家族と過ごす大切な時間」

小川和美



2022年の新春号に私は「家族で今年こそ帰省!!(長崎まで車で往復挑戦したいな)」と書いたのを皆さん覚えていませんか? ずっとコロナ禍において帰省もできずにいたのですが、実は昨年7月に有言実行できました。

ワンボックス車の後部座席をフラットにし寝られる状態にして夜に出発。夫と数時間ずつ運転を交代しながら1,200kmに及ぶ長崎までの道のりを約16時間かけて帰省しました。真夜中の高速道路は大きなトラックが多く驚きましたが、途中のサービスエリアも夜間は空いていて、ご当地銘菓などを購入したり、小5の娘と小3の息子は大きな日本地図を車内に貼って「寝ている間にこんなに走ったんだね～」とルートを確認したり、車での移動だからこそその楽しさも味わうことができました。

帰省中は、感染防止対策をしながら、義父母と一緒に温泉に行ったり、子ども達と釣りをしたり、公園で遊んだり、軍艦島ミュージアムに行ったり... 普段は日々忙しく過ぎていき、子ども達二人で留守番させておくことが多い中、こうした家族皆で一緒に過ごす時間の大切さも実感した今回の帰省でした。

まだ終息しないコロナではありますが、今できることを楽しみつつ、家族が健康で色々と協力してくれるおかげで現在の生活が成り立っていることに感謝しながら、またどこかに旅行したいなと思う今日この頃です。

